

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年 1月 20日 第31号
発行;校長 村上謙一

【第2回 チーム担任制のメリットとデメリット】
一西小はなぜチーム担任制を進めるのか。6つのメリットがあるからです。

- ①【ダイバシティ】一人ひとりの児童を、チームで見取り、多面的に個性をのばしていけます。一人の担任のでは気づきにくいところもチームだからこそ見えてきます。
- ②【ベストミックス】従来の固定的担任制では、となりのクラスの児童への支援に、その学級担任への遠慮や配慮がうまれてしまう実態がありました。この壁を取り除くことで、どの子へも担当としてかかわれます。結果、子どもの安心感が高まります。
- ③【オープンソース】学級間の指導の差がなくなります。一人の教員のすぐれた指導力を1つの学級に閉じ込めず、すべての児童に広げられます。「〇〇先生のクラスが良かった」という不満がなくなります。
- ④【フォローアップ】どの先生にも児童が困りごとを相談できます。困ったときに、相談しやすい環境が出来ます。
- ⑤【スキルアップ】先生の専門性が向上します。チームで連携することで児童への支援が個業から、担当同士の有機的な連携による課題解決に向かいます。先生方が互いの良いところを吸収しやすい環境が生まれます。
- ⑥【セーフティネット】全ての先進取組校から、学級の「荒れ」が見られなくなった旨の報告がされています。

一方で下のようなデメリットも懸念されます。

- ① 担任としての責任の所在があやふやになるのではないかな。担当の一人でありながら、「他の担当がやるから大丈夫」と甘い認識や指導の甘さが生まれることが考えられます。一人ひとりの担当が主体的に子どもや保護者と関わっていかねばなりません。
- ② 従来の担任制の方が児童との関係性が進むのではないかな。担任と児童が1対1の関係で長時間、長期間、児童と関わるほうが1人の担任の理解や関係性が深まることは確かです。しかし一人ひとりを多面的に理解する観点からは、複数の教員が関わる方が勝ります。ある担当では見えなかったその児童の良さを、他の担当が見つけて、チームで共有できます。

【1/8 不審者対応訓練を実施しました】

2001年、大阪の小学校で起きた不審者侵入事件では、多くの尊い命が失われました。二度と再びこのような惨事を起こさないための訓練です。豊川警察署からお二人の指導員をお招きして、子どものいのちの守り方を学びました。この訓練は教員のみで行いました。今回の学びはたくさんありますが、危険な場合は声を張り上げることが特に大切なことでした。

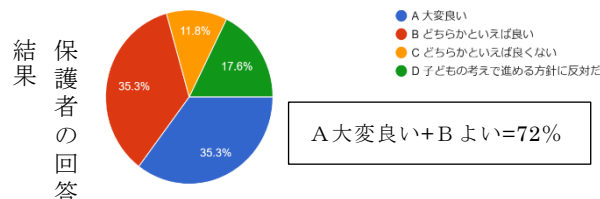
【1/9 火災想定避難訓練を行いました】

理科室から出火の想定です。563人の皆さんが避難を完了するまで5分50秒かかりました。真剣に訓練に参加してくれてありがとうございました。だれひとり、緊張感のない表情の人はいませんでした。大変立派でした。しかし、避難は時間の勝負です。次回はあと50秒早く集まると、さらにすばらしいでしょう。

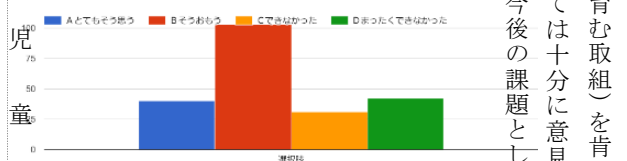
【マラソン大会保護者アンケート集計結果】

前号で自由記述の内容について抜粋して紹介しました。全体数の集計結果は以下の通りです。

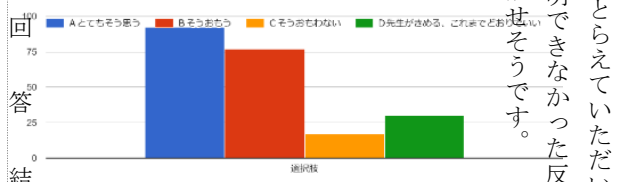
2. 今年のマラソン大会では、開催の是非、企画と...組みについて、あなたはどのように思いますか。17件の回答



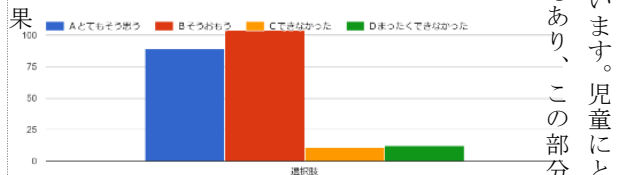
1. 学級会の「マラソン大会」の話し合いで、私は自分の考えを述べられた。



2. 「マラソン大会」をどうするかについて、自分たちで決められてよかった。



4. これからも学校のいろいろなことについて、自分たちの意見を述べる機会があったほうが良い。



保護者・児童ともに、自ら企画決定する取組(当事者意識を育む取組)を肯定的にとらえていただいています。児童にとつては十分に意見を表明できなかった反省もあり、この部分が今後の課題として生かせそうです。